

第2回真岡市公共施設等総合管理計画推進市民会議 議事録

■日 時：平成29年12月15日（金）13：30～15：00

■場 所：真岡市役所本庁舎3階会議室

■次 第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 議事
(1) 真岡市公共施設再配置計画（素案）について
- 4 今後の日程
- 5 閉会

■事前配付資料

真岡市公共施設再配置計画（素案）
真岡市の公共施設に関するアンケート結果
第1回真岡市公共施設等総合管理計画推進市民会議議事録

■議 事

- 1 開会
 - ・事務局より、開会あいさつ。

- 2 市長あいさつ
 - ・第1回市民会議や8月に実施した市民アンケートの結果を踏まえ、真岡市公共施設再配置計画（素案）を作成した。
 - ・今後10年間の施設維持管理について、今後の方針を記載している。しかし、まだ素案段階であり、計画書として確定したものでは無い。
 - ・市としては、委員の皆様の意見を参考にしながら、よりよい計画にするため、ご協力をお願いしたい。

- 3 議事
 - (1) 真岡市公共施設再配置計画（素案）について
事務局：資料の説明。

委 員：真岡市公共施設再配置計画（素案）は、施設を所有する各課と協議して検討したのか。

事務局：庁内会議のほかに、施設を所有する各課にヒアリングを実施して、真

岡市公共施設再配置計画（素案）を検討した。

委員：各施設の利用状況が分かる資料があると良い。

また、廃校の活用検討案として、真岡市をPRするような活用が良いのではないか。

事務局：各施設の利用状況は整理しているが、不特定多数の方が利用する施設もあり、明確なデータとして公表できる段階ではないため、提示していない。

廃校の活用検討の方法は、「①庁内案の集約」、「②地域座談会の開催」、「③民間企業へのヒアリング」を予定している。それぞれの検討結果を集約し、選定委員会で検討する予定である。

委員：2018年のJRデスティネーションキャンペーンに栃木県が設定されている。そのため、JRに対して真岡市のPRを行っており、また、バス会社にもPRを行っている。公共施設を真岡市の観光に活用するのであれば、主要な観光施設としてPRしていきたいと考えている。

副市長：荒町に観光施設の真岡木綿会館と久保記念観光交流館があり、本年度に飲食スペースとして、もめん茶屋がオープンした。しかし、まだ荒町は閑散としている状態であるため、観光客に寄ってもらえるように修景を行い改善を図る予定である。

直近の予定では、2019年1月27日に東京で真岡市のいちごのPRをする予定である。現在はいちごのPRが主であるが、今後は、いちご以外のPRも更に力を入れていきたいと考えている。

委員：市民会館に「市民“いちご”ホール」の愛称がつけられたが、十分に周知されておらず、愛称を知らない人が多い。ホールでイベントを開催することで、施設名や真岡市のPRに繋がるのではないか。

事務局：各施設の愛称は、「Weekly News もおか」のトップ記事で定期的で紹介もしている。施設の看板については、順次リニューアルしていく予定である。また、ホールを活用したイベントについては、貴重なご意見として今後の参考にしたい。

委員：市民アンケートの結果について、「問5 現在より不便になることへの理解」で回答者の9割が理解を示しているとなっているが、理由が分かれば教えてほしい。

廃校の活用案として、真岡市のPRに利用する案もあるが、学校は地域にとって愛着のある施設のため、市民アンケートの自由意見にも書かれているように、地域住民が利用できる施設にする案も考えられる。

事務局：アンケートの結果については、資料として真岡市における財政面の現

状を提示しているため、厳しい現状を知った多くの方が受け入れられると回答したのではないかと考える。

公共施設の再配置により不便になることへの対策として、いちごタクシーなどの公共交通の改善も一つの可能性として考えられる。

廃校の活用方法として、アンケートの自由意見に「防災」、「福祉子育て」の意見があるが、庁内においても同様の意見は出ている。廃校の再利用方法については、今後、地域住民や民間企業と協力しながら決定したいと考えている。

委員：廃校になる学校の立地は不便な場所にあると思うが、不便な場所にあるという特性を利用して都心の大学のゼミや部活の合宿所として提供できないか。合宿で利用した学生が、真岡市を気に入りと、就職を期に真岡市に移住してくる可能性があるのではないかと。

事務局：廃校の活用案はまだ検討段階のため、一つの案として検討したい。

副会長：子どもの声が響いていることは地域が活着している証であると考えている。学校の統廃合において、統合先の学校のある地域は良いが、廃校となる学校のある地域は寂れてしまうと考える。そのため、廃校の活用を本気で考えていかないと、地域がどんどん衰退していくと危惧している。早急に対応が必要だと考えている。

委員：廃校となる学校の体育館は、地域のスポーツ施設として利用できると思う。老朽化も進んでおり、今後、計画的な修繕が必要になると思う。また、廃校の体育館はスポーツ振興課の管轄になると思うが、施設数が増えても予算が増えず、必要な修繕等が実施できない状況にならないようにしてほしい。

委員：真岡市の体育館には冷暖房施設が整備されておらず、スポーツの大会を開催しても不便である。また、二宮体育館は周辺にコンビニなどの店舗が無く、体育館に売店があると良いと考える。

子育て支援施設について、市民アンケートの回答にもあったが、親子で遊べる施設（図書館が併設された施設など）があると便利だと考える。今後建設する予定があるか教えてほしい。

事務局：冷暖房設備は今後の課題としたい。売店については、大会主催者と協議し、大きな大会に限定して売店の設置を許可している。今後の運営の参考にしたい。

子育て支援施設については、今後、建設を予定している新庁舎の周辺整備を行う中で、子どもが遊べる空間や、その他様々な機能を有した施設の整備を検討している。

委員：真岡駅の4階SLギャラリーは、親子連れの人が多く利用しており、憩いの場となっている。もう少しSLギャラリーを整備することで集客に繋がると思う。例えば、観光客が駅周辺でSLを待っている間にSLギャラリーを利用したり、飲食したりできることで駅周辺に賑わいが生まれると考える。

真岡市は駅前エリアの整備に力を入れていると感じるが、観光客に駅前エリアをPRできていないと感じる。

土日限定などで真岡駅から観光地を周遊するバスは運行しているか。

事務局：真岡駅のSLギャラリーは、今後、子どもエリアの拡大を検討している。観光客に回遊していただく仕掛けとして、まちなか保健室、まちかど美術館などがあるが、PRが不十分だと実感している。土日のバス運行は無いが、年4回の大きなイベントの際（さくら祭り、中村八幡宮の流鏝馬など）には、臨時の周遊バスを運行している。バスの運行は課題と感じている。

委員：過去に商工会議所の関東ブロック大会で、当時のスケートセンター（現スポーツ交流館）を懇親会の会場として使わせてもらった。当時はスケートセンターが廃止になっていたため、特別に飲食できるよう配慮していただいた。真岡市では民間も含め大きな会場が限られているため、大人数を収容できる公共施設において、懇親会等のニーズはあると思われる。現在の規約で飲食は可能なのか聞きたい。

事務局：教育委員会が管理するスポーツ交流館等の施設では、原則として懇親会等の利用は禁止しているが、時代のニーズに合うように、変更できるものがあれば変更したい。

事務局：委員の中から学校施設は老朽化が進んでいるという指摘があったが、全ての施設で耐震補強の実施や、防犯ガラスの設置、トイレの改修、エアコンの設置などにより、学習環境は向上している。

4 その他

- ・事務局より、今後の日程等について説明。

5 閉会

- ・事務局より、閉会あいさつ。

(以上)

真岡市公共施設等総合管理計画推進委員

平成29年12月

No.	区分	推薦団体等	氏名
1	有識者	宇都宮大学名誉教授	三橋 伸夫
2		株式会社あしぎん総合研究所	荒川 貴之
3	地域	真岡市自治会連合会	豊田 征巳
4		真岡市女性団体連絡協議会	本田 幸子
5	社会教育・文化	真岡市社会教育委員	秋山 康雄
6		真岡市文化協会	伊巻 由美子
7	スポーツ	真岡市体育協会	佐藤 正
8	子育て・学校	真岡市子ども会育成会連絡協議会	荻野 徹
9		真岡市子ども・子育て会議	横田 康子
10		真岡市PTA連絡協議会	青木 圭太
11	商工観光	真岡市観光協会	川田 英治
12	一般公募	公募委員	中澤 徳光
13		公募委員	日下田 ゆかり

事務局

1	真岡市	市長	石坂 真一
2	真岡市	副市長	嶋田 寛
3	真岡市	教育長	田上 富男
4	真岡市	総務部長	増山 明
5	真岡市	市民生活部長	野澤 雅孝
6	真岡市	健康福祉部長	佐藤 厚
7	真岡市	産業環境部長	成毛 純一
8	真岡市	建設部長兼水道部長	関 康雄
9	真岡市	教育次長	添野 郁
10	真岡市	企画課長	加藤 敦美
11	真岡市	企画課長補佐	水沼 保彦
12	真岡市	企画課管財係長	一ノ瀬 幸人
13	真岡市	企画課主査	田崎 雅治
14	真岡市	企画課主査	関 亦謹仁